

指定管理者定期モニタリングの実施結果の公表について

◎令和4年度定期モニタリングの実施結果

| No. | 施設名称 | I 市民サービスの提供 | II 事業展開等 | III 施設の適正な管理 | IV 総合評価 | コメント（要旨） | 担当部署 |
|-----|------------|-------------|----------|--------------|---------|--|--------------------|
| 1 | 市民活動センター | B | B | B | A | 新型コロナウイルス感染症の影響もあり稼働率は目標値を下回るものの、前年度比で増加し、回復傾向にある。フリースペースがワクチン接種会場となっていることから市民同士の交流機会が減少しているが、とりわけ協働コーディネートに力を入れて取り組み、件数を増加させるなど市民活動の活性化に努めた。第2期の指定管理期間が始まり、事業スタッフ全員が事業計画や目的意識を共有するために研修や定期ミーティングで話し合う機会を設けたり、個人の能力に合わせた連続講座等の受講など中間支援スキルの向上に努めたり、協働のまちづくりをより一層促進していく意識を確認できた。今後も、団体や企業などの民間と市との連携のハブとしての機能を強化し、効果的な協働事例を創出することを期待する。 | 市民協働推進部 協働共創推進課 |
| 2 | 府中駅南口市営駐車場 | B | B | B | A | 施設の適正かつ安全な管理を行っている。令和4年度は原材料及びエネルギー価格の高騰に伴う値上げが続くなど、駐車場を取り巻く環境は厳しい状況であったが、駐車料金収入は過去最高額を記録した。今後も多くの利用者の獲得、定着を目指すとともに、管理運営の効率化を引き続き進めてもらいたい。 | 生活環境部 地域安全対策課 |
| 3 | 府中駅南自転車駐車場 | B | B | B | A | 適切に施設の管理・運営を行っている。利用者数についても前年に引き続き増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いて以降、安定した経営を行っている。またご意見箱の設置、利用者アンケートを実施し、利用者の満足度向上を図っている。次年度についても、利用者数の増加及び満足度の向上に向け、適切な管理・運営を行ってほしい。 | 生活環境部 地域安全対策課 |
| 4 | 市民会館 | B | B | A | A | 令和4年10月より、第2期PFI府中市民会館・中央図書館株式会社が指定管理業務を行っている。PFI事業者が指定管理者でもあることから、事業者間の連携による効率的な施設の運営、管理を期待している。新型コロナウイルス感染症拡大防止のための規制が段階的に撤廃され、施設の稼働率も回復しつつある。飲食を伴う利用については個別に実施内容を確認、相談を行うなど、リスク管理に取り組んでいる。引き続き自主事業の実施のほか、PFI事業者間での連携により複合施設としての特色を活かした事業企画などにより、市民による施設利用の促進に努めてもらいたい。 | 文化スポーツ部 文化生涯学習課 |
| 5 | 府中の森芸術劇場 | A | B | B | A | 新型コロナウイルスの感染症拡大防止に伴う施設の利用制限の緩和以降、各種コンクールや市民団体等によるコンサート利用が増加したことにより、令和4年度の3ホールの平均稼働率は76.6%と、コロナ禍以前の水準に戻った。また、令和4年度の自主事業については、計画していたものを概ね予定どおり実施することができた。また、エントランスホール、各ホールホワイエ、ウィーンホール及びふるさとホール楽屋エリアへWi-Fiを設置したほか、公式インスタグラムとフェイスブックを開設するなど、市民（利用者）サービスの向上に努め、利用者の増加に向けた取組を行った。開館から30年以上経過し、施設の老朽化に伴う設備等の修繕や突発的な故障が多くなっているため、これまで以上に利用者の安全と施設の健全な管理・運営に努めていただきたい。 | 文化スポーツ部 文化生涯学習課 |
| 6 | 府中の森芸術劇場分館 | B | B | A | A | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としての利用制限を緩和したこと、SNSを利用した広報活動を行ったことで稼働率は平常時と同程度に戻った。施設・設備については適正な管理を行っており、利用者アンケートでは財団職員及び臨時職員の待遇も高く評価されている。府中文化振興財団として、利用者の安全確保対策、緊急時の対応のための責任体制・連絡網の整備、災害時及び防火・防犯のための対応体制の整備を行っており、また定期的に職員の研修・訓練も行っている。今後も、安心できる施設の管理・運営に努めてもらいたい。 | 文化スポーツ部 文化生涯学習課 |

| No. | 施設名称 | I 市民サービスの提供 | II 事業展開等 | III 施設の適正な管理 | IV 総合評価 | コメント（要旨） | 担当部署 |
|-----|---------------------|-------------|----------|--------------|---------|---|---------------------|
| 7 | 郷土の森博物館 | B | B | A | A | コロナが完全に終息したわけではない中、展示会の充実、植栽の段階的な整備と活用、市民団体との共催事業の開催など、多種多様な取り組みに努めた結果、過去最高（平成13年度の料金体系改定以降）の入場者数を記録した点は大いに評価できる。また、施設管理全般についても、適正に行われていた。博物館は、開館から35年以上が経過し施設の老朽化が進行しているため、引き続き健全な施設管理に努めるとともに、東京を代表する歴史・文化の拠点として、博物館の有する資源を最大限に生かした事業展開を今後も期待する。 | 文化スポーツ部 ふるさと文化財課 |
| 8 | 市立ふれあい会館 | B | B | B | A | 老朽化による施設改修工事により、施設の利用が制限される中、適切かつ迅速に対応されていた。各項目についても評価した結果、特段指摘する事項はないので、今後も利用者にとって使いやすい施設となるように管理運営に努めてもらいたい。 | 福祉保健部 地域福祉推進課 |
| 9 | 市立介護予防推進センター | B | A | B | A | 施設の管理運営について、基本協定書に基づき適切に行われており、元気で明るい接遇により施設全体に活気ある雰囲気を与えている。令和3年度からスマホ教室、みんなチャレ講座を開催し、高齢者のデジタルデバйд解消のための事業展開を行い、好評である。総務省のデジタル支援員の資格を職員の大多数が取得し、講座を実施している。また、11月の介護予防強化月間には、「長いいきいき★フェスタ」を開催した。FC東京、東芝ブレイブルーパス東京、明治安田生命など協働事業としてフェスタを開催し、広く介護予防の普及啓発を行うことにつなげるなど、市の介護予防の拠点施設として十分に機能している。令和4年度は、短期集中予防サービス事業の通所事業所として積極的に事業実施をし、虚弱な高齢者が元気を取り戻す仕組み作りの一助となった。本市においても介護ニーズが高い後期高齢者の人口が大幅に増加する見込みであり、元気を取り戻す高齢者を増やすためにも介護予防推進センターの役割はますます大きくなることが予測される。今後も魅力ある教室や講座の開催等により、これまで介護予防に取り組んだことが無い市民に利用されるよう、効果的かつ充実した介護予防の事業展開の提案を期待する。 | 福祉保健部 高齢者支援課 |
| 10 | 市立特別養護老人ホーム よつや苑 | A | B | B | A | サービスの提供にあたり、公の施設であることを強く認識し、困難なケースの受入れなど積極的に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により面会制限などがある中においては、利用者の様子がわかるよう手紙や写真を送付するなど、利用者家族に寄り添った対応を心掛けている。また、新規入所者に対して入所後速やかに「歩く」取り組みを行うなど、機能回復訓練の積極的な実施による利用者の身体能力維持に力を入れている。さらに、介護の知識や技能獲得のための職員研修や、災害・感染症に対する訓練を計画的に行い、利用者の安全確保のための職員教育に努めている。今後の運営に向けて、老朽化が進んでいる施設の大規模修繕や保守管理を市と協力して滞りなく進めることを期待する。 | 福祉保健部 介護保険課 |
| 11 | 市立特別養護老人ホーム あさひ苑 | A | B | B | A | あさひ苑は開設から30年を迎え、施設の老朽化が進む中、劣化状況について詳細に報告されており、保守点検や修繕を適切に行い、計画的に施設の管理運営を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、稼働率は低下したが、感染症対策を継続し、利用者の安全を確保しながら、適切な運営を行うことができた。面会方法も工夫を凝らしながら実施することで、利用者や利用者家族に寄り添った施設運営を心掛けている。公設施設であることを強く意識し、近隣地域のみならず積極的に困難なケースの受入れを行う姿勢がある。第三者評価では、職員の待遇について高い評価を得ている。今後も、施設の保守管理のため市との密な連携と、様々なケースの受入れのほか、地域に開かれた施設として、市民の方々が安心してサービスを利用できるよう、更なるサービスの向上を期待する。 | 福祉保健部 介護保険課 |

| No. | 施設名称 | I 市民サービスの提供 | II 事業展開等 | III 施設の適正な管理 | IV 総合評価 | コメント（要旨） | 担当部署 |
|-----|-------------------------|-------------|----------|--------------|---------|---|-----------------|
| 12 | 市立よつや苑高齢者 在宅サービスセンター | B | B | B | A | 公の施設であることを強く認識し、市の基準による通所型サービスの実施や広い範囲から利用者を受入れるなど、積極的に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、稼働率について厳しい状況もあったが、通所サービスにおける「歩く」取組みなどの情報発信や自立支援の取組みに力を入れており、前年度に引き続き第三者評価で高い評価を受けている。サービスに対する改善を求める声があったことについては、市に提出された業務改善計画に従って、再発防止に取り組んでもらいたい。今後も引き続き利用者の満足度向上を目指すとともに、地域の拠点として安定した運営を期待する。 | 福祉保健部 介護保険課 |
| 13 | 市立あさひ苑高齢者 在宅サービスセンター | A | B | B | A | あさひ苑は開設から30年を迎え、施設の老朽化が進む中、劣化状況について詳細に報告されており、保守点検や修繕を適切に行い、計画的に施設の管理運営を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、稼働率は低下したが、感染症対策を継続し、利用者の安全を確保した運営に努めたことにより、前年度より回復してきている。サービスの提供にあたっては、要望が多かった活動を再開するなどし、第三者評価で前年度同様に高い評価を受けている。また、食事サービスを通じた近隣地域の見守りにも力を入れるとともに、公施設であることを強く意識し、市の基準による通所型サービスの受入れも実施している。 引き続き利用者の満足度向上を目指すとともに、地域の拠点として安定した運営を期待する。 | |
| 14 | 市立心身障害者福祉センター | B | B | B | A | 施設の老朽化が進むなかで、優先順位を立てながら保守管理及び修繕等の施設管理を行っているほか、光熱水費の高騰に伴い、省エネに向けた取り組みが確認できた。また、利用者の安全を確保するための各種マニュアルの整備及び定期的な見直しを図るほか、コロナ禍における感染対策を行いながら、利用者のための様々な事業を再開する動きが見られた。令和6年度の児童発達支援センターの開業に伴い、児童発達部門（あゆの子）の撤退後も、関係機関や市民への情報提供及び啓発活動などを活発に行い、セーフティネットとしての機能を担う施設となるよう、引き続き努力していただきたい。 | 福祉保健部 障害者福祉課 |

※定期モニタリング総合評価について

- (1) 各項目（Ⅰ～Ⅲ）配点基準 「A」…5点、「B」…4点、「C」…3点、「D」…1点
- (2) 総合評価は各項目評価の合計点数で決定します。「S」…14点以上、「A」…12点以上14点未満、「B」…9点以上12点未満、「C」…6点以上9点未満、「D」…5点以下